

子どもと高齢者の交通安全リーダー研修会



会場の様子



ナスバの活動を拝聴



運転のメカニズムを学ぶ



意見交換の様子

令和七年六月二十五日（水）、郡山市ユラックス熱海において「子どもと高齢者の交通安全リーダー研修会」を開催し、県内各地から約百名の会員が参加しました。

開会の言葉に続き、志賀会長より、「日頃より会員の皆様に交通事故を一件でも減少するように各地で活動していること」に対する感謝の気持ち述べられました。

続いて、独立行政法人自動車事故対策機構（NASV A）仙台主管支所次長の伴野晋一様による「高齢者の交通事故防止のために」についての講義を受けました。講師の先生からは、交通事故の現状や統計データをもとに、事故の多くが「ちよつとした気の緩み」や「思い込み」から起こっていることを教えていただきました。特に高齢者が関係する事故の割合が高いというお話に改めて地域ぐるみでの安全啓発の重要性を感じました。

また、事故被害者やその家族に対する支援制度、リハビリテーションセンターの取り組みについても紹介があり、事故後の生活再建の難しさと、それを支える社会の仕組みの大切さを学びました。私たち母親一人ひとりが、日常の中で「安全手本」となる行動こそが、子どもたちの命を守る第一歩であるという言葉が心に残りまりました。

今後は、家庭や地域での交通安全指導に、今回の学びを活かし、「思いやり運転」「ゆとりある行動」を意識して活動していきたいと思えます。講義を通して、交通安全への意識を新たにし、母の会としての役割と責任を改めて感じた貴重な研修会でした。

役員研修会

令和七年九月四日（木）、伊達市ふるさと会館MDホールにて、各市町村母の会の役員及び事務職員を対象に交通安全に対する意識の高揚と資質の向上を図るため「役員研修会」が開催されました。

当日は翌日に開催される第三十四回交通安全母親福島大会の準備、設営、役割の確認等を終えてから、引き続き役員研修会が行われました。

役員研修会では、母の会の活動について各市町村から様々な意見が飛び交いました。

例えば、母の会の会員が年々減少し、人数確保が難しい、全体的に過疎化が進み、小団体で母の会を運営しているなど、厳しい意見が出ました。一方で女性だけで活動するのは難しく、男性が参加している地域があるとの意見もありました。

今の時代、男女関係なく社会に関心があるので、他の地域でも参考になればと思います。

母の会を知ってもらおうと、年一回の交通遺児募金活動を行っていたり、毎日の立哨活動や地域と合同で子供の見守りを行ったり、幼稚園児、新入学児童に手作りのマスコットを配布したりと、皆様から大変貴重な意見を頂きました。

短時間ではありますが、改めて母の会活動の重要性を感じる研修会となりました。



研修会の様子

市町村からこんにちは ～市町村交母の取組～

各市町村交通安全母の会では毎年10月に「県下一斉交通安全街頭啓発活動」を実施しています。
 令和7年度も多く各市町村交通安全母の会で横断幕の掲示や啓発品の配布等により、ドライバーや歩行者に交通事故防止をアピールしました。
 今後も交通安全母の会の基本理念である「交通安全は家庭から」、「命大切に」をスローガンに、悲惨な交通事故を1件でもなくすため、母親の立場で地域に根ざした活動を継続していきましょう。



【福島市交通安全母の会連絡協議会】
R7.10.15
福島市北警察署前



【伊達市交通安全母の会】
R7.10.14
ローソン伊達月館町店付近交差点



【川俣町交通安全母の会】
R7.10.15
国道349号ミニストップ大清水店前



【須賀川市交通安全母の会】
R7.10.22
国道4号沿いヨークベニマル須賀川西店前



【鏡石町交通安全母の会】
R7.10.15
鏡石町役場前交差点



【磐梯町交通安全母の会】
R7.10.18
県道7号沿い道の駅ばんだい



【猪苗代町交通安全母の会】
R7.10.15
ヨークベニマル猪苗代店前



【南相馬市交通安全母の会連合会】
R7.10.15
鹿島駅前

役員名簿 (常任理事以上)

令和7年9月5日

名誉会長	齋藤 和子 (いわき市)	
会長	志賀 智子 (いわき市)	
副会長	柏倉かつ彥 (福島市)	渡辺さゆり (郡山市)
	徳田 芳江 (白河市)	
常任理事	菅野 吉 (伊達市)	紺野みゑ子 (二本松市)
	石橋 順子 (本宮市)	添田喜美代 (鏡石町)
	高畑 京子 (会津若松市)	小林 弘子 (喜多方市)
	今野 愛 (南相馬市)	坪井 樹里 (いわき市)

＊表 彰＊

☆福島県知事表彰

高畑 京子 さん (会津若松市)



受賞コメント

令和7年度の交通安全功労者として、県知事表彰を頂き、誠に光栄に存じます。これもひとえに齋藤名誉会長、志賀会長を始め、役員の方々の御指導・御支援と共に支えてくださった地域の皆様のおかげかと感謝しております。

今後も今回の栄誉を励みとしてより一層交通安全活動に尽力させていただきます。



受賞時



総会時花束贈呈

編集後記

福島県交母の会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。
 令和八年を迎え、第四十二号「県交母だより」をお届けいたします。会員の皆様には、各種事業等にご協力いただき誠にありがとうございます。
 交通安全母の会の基本理念である「交通安全は家庭から」のスローガンのもと母親の力を結集し「命大切に」を呼びかけ交通事故防止を一人でも多くの方に呼びかけをしましょう。会長を中心に役員一丸となって県交母を盛り上げ活動していきます。
 事故のない社会を皆様と共に作り上げ、引き続きご協力をお願い申し上げます。最後に皆様のご健康をお祈りいたします。編集後記といたします。